



トロント新移住者協会 www.torontonjca.com torontonjca@yahoo.co.jp
NEW JAPANESE CANADIAN ASSOCIATION c/o JCCC, 6 GARAMOND COURT, TORONTO, ONTARIO, CANADA M3C 1Z5

巻頭言

相談役 小野恵子



今年のお正月会では「百折不撓」というお手本を頂いて書初めをした。

意味はなんとなく分かるけど本当の意味はと確認したらやはり俗語では七転八起ということなのでこれを選んだ。

そのとき読み方も聞けばよかったと今になって反省している。

1年に1回の筆で書く字、空中に描いてみてこれで良からうと「百折不撓」を念じながら紙に書いてから見てみるとお粗末そのもの。

それでもう一枚紙をもらって今度こそお手本を良く見ながら一所懸命書いたのだが・・・2度目は上手に書こう(真似しよう)という態度が字体にもろに出て結局面白味も何もない結果になった。初めのお粗末な書初めの名前の下に落款(らくかん)を押してもらおうと何とか様になって、さて今年もぼちぼち

「百折不撓—七転び八起き」でやっ行ってこうという気になった。

この格言を選んだのには私なりの意味がある。それは・・・NJCA傘下の日本語学校国語教室では毎年5月のピクトリアデーに掛かる土曜日に運動会がおこなわれる。この運動会は学校創立以来34年間、大雨で一度も中止になったことがないという驚異の学校行事で私も子供が学校に通いだして以来欠かさず参加している。全校を紅白にわけて各競技で点数を稼ぎ最終でどちらかが勝つようになっている。点数稼ぎばかりではなく、生たまご投げ、ドーナツ食い競争、親子競争など誰でも楽しめるイベントが盛りだくさん。

この運動会のハイライトは全校を2つにわけるリレーと綱引き。綱引きは個人は目立たないがリレーは自分の走る分はみんなの注目を浴びる。仕組みを説明すると、まず全校を若年組(7,8,9,10歳)、

年上組(11,12,13歳、アドバンス)にわけ、若年組を1チーム15名ずつ4組作る。このチーム作りの選手の配分は係りの先生の手腕によるところが多である。この1チーム15名というのが曲者で、1番目が1位で走っても15番目までくるとどうなるか分からないという事が毎年繰り返され、応援する側もとても熱が入る。各チームには子供だけではなく保護者(年齢無関係)が入るので予想のつかない競争になる。

毎年このリレーに参加して、1週間ぐらい筋肉痛にさいなまれ、来年こそは運動会の前にすこしトレーニングしてみんなにいい格好見せようと密かに誓うのであるが、365日はあつと言う間に過ぎてまた同じことの繰り返し。

ところが去年2009年はその誓いを遂行できたのである。2月ごろからYMCAに通い筋肉トレーニング、走りこみと気合入れて、気分が乗ってきたので、競争用のスパイクのついた靴を買って準備万端。さて運動会当日、リレー用のゼッケンをもって4組4列に並ばされて、さて私の競争相手は?と横をみると同じ番号のゼッケンをつけているのは8歳ぐらいの子供ではないか! おかげ様で子供に追い越されることもなく、1位で入って来た我がチームのバトンをそのまま次の走者に渡したので面目を保ったものの(我チームの最終結果は3位)、少々意気が欠けて現在はYMCAお休み。でもこんなことで挫けてはいけない。「百折不撓」、そろそろ今年の運動会に向けて準備に取り掛かろう。



開催10年目を迎えた「お正月会」大成功でした。ご支援ありがとうございます!



会長 長石芳尚
1月24日例年になく暖かい日に恵まれ、これも例年になくたくさんのお子さま連れのお客さまをお迎えして開催したトロント新移住者協会(NJCA)恒例の「お正月会」は無事に終わり、大成功でした。

NJCAからの呼びかけに例年にも増して支援の手を差し伸べていただいたトロント芸能愛好会、その呼びかけに呼応して諸芸能をご披露戴いた皆様、本年度初めて会場を轟くリズムで満たしてくださ

った「一心太鼓」の方々、年々磨きを増してきた獅子舞の皆さん、出店、ボランティアの皆さん、そして疲れを見せずに計画から準備、実行まで事もなげにこなしてくれたNJCAの理事、役員のみなさん、それにも増してありがたいのはご来館下さったお客様、本当にありがとうございました。



暫らくの休養期間がありますからまた元気にやりましょう。NJCAもこの「お正月会」が毎年幾分なりとも進化して行くように努力を続けますし、皆様からのご鞭撻とご支援によって益々その名にふさわしいイベントに育てたいと思いますのでよろしくお願ひ致します。



2010年、第10回お正月会を終えて

ハリー川邊



去る1月24日の日曜日、恒例の第10回となったお正月会が催されました。開会式には山下総領事と JCCC 新理事長のゲリー川口氏をお迎えしてご挨拶を頂いたあと、お屠蘇のデモンストレーション、餅つきのデモンストレーションにご参加頂き開会式を終えました。これも獅子舞のナルラ・グループによって恒例となった2頭の獅子が笛と太鼓とシンバルの伴奏で舞台と会館内で獅子舞を舞い、いやがうえにもお正月気分を引き立ててくれました。

そして商工会コートでは浮き舟の会の皆さんによる書初め大会が催され、多くの人たちが嬉々として書初めにトライしておりました。先着の子供達100名にはお年玉が配られ、大人達には、お屠蘇とお餅が無料で振舞われました。小林ホールのステージでは日本舞踊を軸とした多彩な演芸が繰り広げられました。

開幕のグループ・ダンス「よきいソーラン」に引き続きいてフラダンス、三味線演奏、マジック・ショー、琴演奏、歌やシング・アロングでお客様と一緒に歌ったりしたあと、最後は仏教会の一心太鼓で締めくくってもらうまでの2時間半をたっぷり楽しんで頂いたと思います。会館内には32のブースが並び、うどんやおむすびなどの他各種の食べ物が売られておりました。



例年通りキャッシュ・バーがあったのも上戸にとってはこたえられないことであり、今回は NJCA 理事会からバーテンダーを送り出したのはまた初めての試みとして成功だったのではないかと思います。我々トロント芸能愛好会が舞台のアトラクションの全てを任せられたので、プログラム編成に大変な努力と時間を費やしました。しかし、お正月会開催にこぎつけるには神社の設置とか、舞台進行や音響その他数多くの裏方達の努力を見過ぎてはなりません。

そうした人々の努力と共に、数多くのボランティアたち、それから当日来てくださったお客様たちに対してこの場を借りて感謝の気持ちをお伝えして筆をおきたいと思います。



子供達は元気なアスリート

池端友佳理

カナダ、バンクーバーでのオリンピックがついに終了してしまいました。



喜び、嬉しさ、そして悔しさ、悲しみ、多くのドラマを背景とし、多くの人々に感動を与え、一つの大イベントは幕を閉じた訳です。

我がカナダでの開催という事で、いつものオリンピックより、人々の気合いの入れ方も一入だった様に感じました。

当園(池端ナーサリースクール)

でも、日々のプログラムなどオリンピック色はかなり強調されていました。園内でオリンピックデーなるものを設定し、カナダや日本はもちろん、オリンピック参加国のオリンピックグッズを身に付けたり、オリンピックプログラムを取り入れたりしました。



職員もカナダ T シャツを揃えて、競技への観戦の熱の入れ方も普段以上だった様な気がします。あ、何よりも、私池端の思い入れが影響していたのかも知れません(笑)。私は大のホッケー好きですので、ホッケーの試合は全て観ましたし、チームカナダが金メダルを獲得した際は大騒ぎでした!

私個人、子供を相手にする際は、個性を大切にするために、順位をつける必要はないと常々思っています。しかし、オリンピックの様な順位は、時に多くの人達へ勇気と誇りを与えるものだとも思います。多くのアスリート達は「自分のため」と言う範囲を大きく超え、街や地域、そして『国』を背負って、その代表として勝負に挑みます。そのプレッシャーは想像を絶するものでしょう。私達の国を代表してオリンピックのその場に出場してくれる。そんなアスリート達を見ていると何よりも彼らを誇りに思い、感謝の気持ちでいっぱいになりました。カナダ人であろうと日本人であろうと、国を背負ってそこに立ってくれている。

ありがとう、その努力にありがとう。感動をありがとう。国民の一人として、私もがんばらなくっちゃ!そんな気持ちにさせてくれて、勇気を与えてくれてありがとう。

金メダルや銀メダルは嬉しいけれど、何よりも一人の人間として、一生懸命な姿を見せてくれるからこそ感動も大きいし、そして人々は、その一生懸命なアスリート達に自分の思いや夢を重ね合わせて見ているのだと思います。だからこそ、皆オリンピックに賛同し、アスリート達を応援するのでしょう。

ふと思いました。子供達はアスリートですね。笑ったり、喜んだり、泣いたり、悔しがったり。一生懸命な彼らがそばにいてくれるからこそ、私達親や大人は頑張れる。勇気や感動をくれる。感謝出来る。夢を持てる。ありがとう、子供達☆

IKEBATA
NURSERY SCHOOL
TORONTO CANADA

オンタリオ州認可保育園
TEL: 416-510-1441
トロント日系文化会館内
www.ikebananursery.com

日本語&英語プログラム

- ・18カ月～6歳前後(年齢別クラス)
- ・プログラム時間: 8:30am～4:00pm (時間外保育: 7:45am～6:00pm)
- ・日本とカナダの経験豊富な幼児教育資格保持者による指導
- ・少人数グループでの日本語・英語レッスン(時間あり)
- ・毎月の行事やお料理保育、遠足、発表会など豊富なプログラム内容
- ・給食、おやつ込み 兄弟・姉妹割引あり

ボランティアスタッフ募集中

詳細は当ホームページをご覧ください



トロント日本語学校 60周年を迎えて

トロント日本語学校教師 中尾良子



ついこの間トロント日本語学校(TJLS)の50周年を祝ったと思ったら、瞬間に60年の記念日がやってきた。10年なんて瞬間に過ぎていく。考えて見れば、60年前の1949年、創立当時に学齢期であった子供たちは、今はどうに60歳を超え、シニアになっているはずである。日系人のカナダ西部からの大移動、そして、学校設立当時を知る人も、もう数少ない。当校のこの60年間を振り返る時、1970年代の新移住者による諸語学校の設立、そして教育省の継承語教育プログラムの開設など、激しい競争の中で、よくここまでやってきたと思う。このような移り行く時勢の中で、1980年代は二、三世の児童生徒の激減により、内容も従来の運営機関も改革を迫られた困難な時期であった。そんな中で、従来の子供だけのクラスから成人クラスが発足し、1987年には、運営も法人団体の生徒、父兄、維持会による自治組織となり、危機を乗り越えることができたのである。現在、子供が7クラス、成人クラスが8レベルで13クラス、総生徒数300余名になるまでに発展し、多くの卒業生や日本語学習者が巣立っていった。この発展の裏には校長歴32年の田中先生をはじめ、School Board、維持会、教師陣の貢献はもとより、卒業生や一、二世のパイオニアの方々の支えがある。

田中校長は1966年から当校で教え始め、1978年に校長就任、何と32年もの間、学校一筋に献身してきた。只今、教師陣は20名、その大半が10余年勤続、辞める教師は稀である。私達教師は皆、仲良しである。School Board、維持会、教師陣のチームプレイで、和やかで楽しい雰囲気の中で教えられるのは教師にとって大変嬉しいものである。その他に、当校には現在16名の日本語教育に興味を持つ教師アシスタントのボランティアがいる。彼らの殆どは日本からのワーホリの人たちであるが、大変勤勉に意欲的にお手伝いしてくださっている。巷では「今の日本の若者は」と云々する人も多いが、彼らに接してみると、なかなか立派で自立した、いい若者たちである。最新の若者文化を直接運んでくれるのもまた彼らだ。現代の日本文化にうとくなりがちで、60年の歴史を持つこの学校に新風を吹き込み、風通しをよくしてくれているのは、ありがたいことである。

この数年、5、6年前からであろうか、在学生の年齢構成や学習動機に大きな変化が起きてきた。以前はビジネスマン、配偶者が日本人、日本で習得した日本語保存などの理由で学んでいた学生が殆どだったが、最近は日本のサブカルチャーとして、世界の若者を魅了している若者文化、つまりアニメ、漫画などに興味を持ってやってくるティーンエイジの生徒が急増してきた。現在、ティーンのクラスは3クラスあり、その他に日本語レベルの高いハイティーンは成人クラスに組み込まれている者もいる。ティーンの生徒の半分程は、東洋系以外の文化を持ったカナダ人である。彼らはアニメフィギュア的装いを好み、若者言葉、例えば、女子高生が使うと言われる「KY語」(インターネットで検索できます)のことも良く知っていて、教える側の教師もおちおち知らないではすまされなくなった。もちろん、このトレンドは一過性のものであると思うが、日本語教師として少し心配でないこともない。正しい日本語を教えながら、若者文化・言葉、流行語などにも目を向け、日本語教師は今、柔軟性を持って日本語を考え、対応しなければならないのではないかと思う。

さて、トロント日本語学校の60周年記念祭と祝賀会が2月27日(土曜日)、日系文化会館の小林ホールで、山下総領事ご夫妻をはじめ、日本政府機関、日系機関・団体の代表や招待者、約100名をお迎えして盛大に行われた。会場には約600人が集い、来賓祝辞の後、子供クラスから成人クラスまで全員参加で各クラスが考案した劇、歌、スキット、踊りなどの出し物が披露され、その熱演に会場は拍手と笑いの渦に沸いた。これは全クラスが昨年の11月頃から、各クラスで考え練習したもので、バラエティに富み大変楽しい時を過ごした。その後、美味しいお寿司箱のお弁当をいただいて帰途についた。

雪がつつく土曜日の早朝にもかかわらず、大切な時間を割いて参加してくださった、多くのお客様にこの紙面を借りて深く感謝を申し上げたい、という田中校長からのメッセージを記し筆をおくことに致します。

2009年度トロント紅白歌合戦 純益を3団体に寄付

2009年度トロント紅白実行委員会 中山あつ子

2009年度のトロント紅白歌合戦を終えた実行委員会では、日系文化会館に3000ドル、新移住者協会に1000ドル、JAPANESE SOCIAL SERVICESに1000ドルの寄付を行った。開催にあたりご協力いただいた広告主、寄付者の皆様に感謝申し上げます。



OPEN: 10a.m. TO 7p.m. (SUN: 11a.m. TO 6p.m.) CLOSED: TUESDAY
 730 QUEEN ST. W. TORONTO M6J 1E8 TEL. 416.703.4550 FAX. 416.703.8593

JAPANESE FOODS & GIFT SHOP
SANKO
 http://www.toronto-sanko.com

日本食品
 みそ・しょうゆ各種
 新鮮野菜
 冷凍魚各種
 スキヤキ肉
 数の子昆布
 いくらとびこ
 塩麴切身
 冷凍えだ豆
 和菓子各種
 オーガニック緑茶

さくら米
 炊飯器
 和食うつわ多様
 新刊雑誌・吉本
 MAXELLバッテリー
 ペンシルペン
 テレホンカード
 ビデオレンタル
 元気の源 元気ドリンク
 他たくさん!!

書籍は航空便で直輸入
 定期購読受付中!

おにぎり
 お弁当 (週末あり) あります

活気のある人求む
 土日働ける方募集中!

日本送りのギフトあります

みついし商店・サンダウンマーケット

日本送り用ギフト承っております **日本食品**
ビデオレンタル・雑貨

●スカーボロ店
 日~水 10:00~18:00
 木・金 10:00~19:00
 土 9:00~18:00
 4385 Sheppard Avenue E., Pearl Plaza内, Unit 15, Scarborough, ON, M1S 1T9 (Brimley & Sheppard)
 ☎(416)496-9083/FAX(416)496-9084

サンダーズ
 ベリー
 自然化粧品
 取扱店

●エトビコー店
 日~水 10:00~18:00
 木・金 10:00~19:00
 土 9:00~18:00
 826 Browns Line, Etobicoke Ontario M8W 3W9 (Evans Ave. & Browns Line)
 ☎(416)251-7900 / (416)259-8260



長年の教師稼業を送り、更に引退後も書道を教えてきましたので“教える”ことに携わってはや半世紀近くになります。しかし今、私の心に一つの課題として重くそして深く拘っていることは“教える”こと以上に“学ぶ”ということです。

考えてみるまでもなく、人は生まれて以来生きるために必要な様々なことを学んできました。多くのことは日々の生活を通して学びますが、更に職業のための教育、社会人としてよりよく生きるため、また家庭生活をより豊かにするための学習など学ぶ対象に限りはありません。更に時間と経済に余裕のある人々は心を豊かにするための文化的な学習、健康維持のためのスポーツなど“老い”を克服するための“学び”が待っています。この“学ぶ”という大事な事柄について私なりに考えてきたことを書いてみたいと思います。

「スポーツをもっとも効率よくマスターする方法は、まず(そのスポーツの)チャンピオンをよく観ることである。」これはあるオリンピック選手の言葉です。“学ぶ”という言葉は“まねぶ”すなわち“まねをする”という意味の古語が転じたものと辞書にあります。しかしにこの選手が言ったように“まねる”＝“学ぶ”対象たる師の選択は非常に大切なことと思われ。すなわち自分の全てを託して師事するに値するかどうか、尊敬できるかどうか、と言い換えてもいいかと思えます。

次に大事なことは、そうして教えるを受けることを決心したからには、自我を捨て謙虚な気持ちで教えるを受けることだと思えます。尊敬の念がもてなければ師と仰ぐことができません。ずっと以前の話になりますが、娘が日本舞踊を習っていたころ、送り迎えをしていた私も習い始めました。ある日先生と雑談をしていた時、ある方の入門を断った話をなさいました。断られた方は私などよりずっと筋のいい人に思われたので、びっくりした私は「どうしてですか?」と訊ねたところ「自分は踊りが上手いと思っているからです。そういう人はいくら教えても決して上達しません。お互いの時間の無駄になりますから。」とお答えになりました。その後、私も書道を教えるようになって、この先生の言葉がいかに真実であるかを身を持って経験してきました。先生の鋭さにただ感服するのみです。

最後にもう一つ“学ぶ”ことに関して最も大事だと思うことを述べてみます。それは“継続”することです。絶えず精進することと言い換えてもよいかと思えます。書道教室でよく口にしている昔のことわざですが、「手習いは坂に車を押す如し、油断をすればあとに戻るぞ」とあります。先頃私どもの会の書初め親睦会で披露した私の書初め作品の一つに中国(漢文)の聯句がありますが、その前句は「学如逆水行舟不進即退」(学ぶことは舟で川を遡るようなものだ、進まなければ流されるのみ)で、正に同じことを諫めているので、私自身も含めて会員の指針にと選びました。

「道」と呼ばれる日本の伝統的文化の稽古事は、それを通して日常生活を超越した“枯淡”、“幽玄”、“無心”の境地に達することが究極の目的かと思えます。そこに至る道程はただひたすらに一生の精進を重ねることでやっと行き着く世界だと思えます。奇を衒った作品作りや、いたづらに(芸術的という名目で)独創性を追うことに腐心することなく謙虚な心で“学ぶ”一年でありたいと願っています。

次々と新しい流行語が生まれ、その言葉が日本語として定着していく今日、私達のように国を遠く離れて住んでいる者には馴染みが薄く、意味不明でついていけない言葉も少なくありません。

「勝負服」や「勝負メイク」、さては「勝負下着」などという言葉まですっかり日常に溶け込んで久しい中、カナダ暮らしが長い私は「勝負パンツ」の意味、日本語学校のお父さんに聞いてつい最近知りました。意味はその言葉どおり、ここぞ、と勝負に出る時に身に着ける勝負グッズの事で、自分に気合いを入れる意味合いもあるそうです。なるへそ…と妙に納得してしまいます。

私の場合、真剣勝負に出る時に身につけるのは30年以上も前に作ったシニアリングです。18金をベースに土台石は9月の誕生石、その紺碧のサファイアを取り巻くように母校の名前が彫られています。右側には私が中学、高校と続けたバスケットボール、左側には学校のシンボルであり私の干支でもある寅と卒業年度まで掘り込まれ、その上内側には私のフルネームが延々と筆記体で綺麗に刻まれています。

私のそれまでの歴史をあたかも指輪一つに凝縮したような、高校生が身につけるには非常に贅沢なカスタムメイドの指輪なのですが、なんと、男の子がステディーになると、ガールフレンドにこの自分のシニアリングをあげるのです。貰った女の子は指輪をチェーンに通してネックレスにし、首からぶら下げて毎日誇らしげに登校するといった可愛い光景が見られたものです。

そんな大好きな指輪なのですが、悲しい事に、ここロントでシニアリングをつけている人を殆ど見かけません。自分の勲章のように誇らしげにはめていた男性はたまに見掛けるのですが、女性の場合、勲章＝ダイヤの指輪に替わってしまったようで、地下鉄や待合室の中、オフィスなど、気をつけて見ているのですが、シニアリングをつけている女性は皆無です。

お気に入りの指輪なのに、こっそり隠れるようにつけているのではつけない方がマシ、と残念に思っていたら、或る時、息子が乳歯の時からお世話になっている歯医者さんの所へチェックアップに行くのに一緒について行ったら、なんと、私と同年代の、年収が何十万ドルもあろう女医さんが左手の薬指にスクールリングをはめていたのです。金だけのシンプルなデザイン、多分カレッジリングでしょう。それを見た私は俄然勇気を貰って、今は堂々とつけるようになりました。

え? アクセサリーは服装や TPO に合わせて選ぶのかですって? いえいえ、私の場合、これから行く先で出会うであろう人達を想像しながら選ぶのです。だから勝負リングなんです。



「浮舟の会」ニュース・フラッシュ

1月16日の書初め親睦会で免状式も行い、次の方々を受証されました(敬称略)。

初伝: 沖京子、安達英子、長石紗永子
中伝: エリック・ユリチャック、中島美恵子

ダイヤモンド、カラーストーン、
各種パール、カスタムデザイン、
リモデリング、修理

SEIKO *Noritake* SEAGULL
PEWTER



Kobo Jewellery

6 Garamond Court, Suite 245, Toronto M3C 1Z5
(日系文化会館2階)
Tel : 416-384-0008 Fax : 416-384-0013
kobojewellery@bellnet.ca



ブラジルの仲間たち

丸木英郎



ブラジルの歌声仲間達と5年ぶりでサンパウロで再会し一緒に歌ってきました。温度差50度のトロントに帰り、ようやく熱帯ぼけが覚めました。

20日間滞在した家内の故郷ペルナンブコ州から空路3時間かけ足を伸ばしたサンパウロには2泊、到着した日には日本人街にある日系ホテルを4割引で予約して下さった明石屋宝石店店主の尾西さん(兵庫県人会会長、ブラジル猛虎会会長)の案内でブラジル日系3団体(文協、援協、県連)合同会合

に出席、日系各界の懐かしい顔ぶれと再会。折から春節の時期で、日曜の朝には日本人が集まってラジオ体操をする明石屋の前の広場には中国人のお祭の舞台が組まれ、その横に巨大な虎が置かれていたので尾西さんと記念写真を撮りました。たまたま旧正月でしたが、中国の正月でなくても日本人町は廃れ、今では中国人や韓国人の多い東洋人町に変貌していました。それでも、ここは僕が初めて住んだ外国の街で第二の故郷でもあります。

久しぶりのサンパウロで日本の商店街そっくりのガルボンブエノ街をぶらぶらしていると、街頭で地図の安売りをしていたので最新の市街地図を買いました。初めて住んだ44年前にも、同じような市内地図を頼りに歩き回った辺りを見ると、懐かしい街路の名前がそのまま印刷してあり、今では地下鉄の駅があるので行ってみました。南北線サンタアナで下車、通称JAL人ジャポン(直訳すれば日本の庭)と名づけられたこの辺りには日伯病院もあり、中沢源一郎広場、江戸広場、芸者街、大阪町、神戸町、東郷元帥通り、広島通り、長崎通り等々。ただし、此処は日本人町では御座いません。

さて翌日は、正午から老く連(老人クラブ連合会)で去年に十周年を祝われた「なつメロ合唱の集い」に参加しました。トロント歌声喫茶の会も今年で10周年になりますが、5年前に来た際に僕達のやり方とかなり異なり、同じ歌好きの日本移民も所代われれば品変わるの趣を実感しました。ただ、歌の上手下手に関係なく参加者全員で一緒に楽しく歌う連帯感があります。

去年の文春12月号で五木寛之が小沢昭一との対談で

「・・・今はそれぞれが iPod を持って、一人で歌を聴き、一人でカラオケで歌う時代。まさに現代の、コミュニティが失われ人間がばらばらになっている状況を映していると思います。かつて『うたごえ運動』というのがありましたね。みんなで同じ歌を歌うと、不思議な連帯感があって、ああ、あの人も同じ心境にいるんだな、とつながりを感じたものです・・・」と語っていました。

なつメロ世話人の五十嵐さんがトロント歌声喫茶の会10周年に出席して下さることになりました。いずれにせよ、南米も北米も故郷を想う気持ちは共通で懐かしのメロディーをロズさむのは楽しいものです。トロントでは歌集を見ながら空オケならぬ本オケの伴奏で歌いますが、サンパウロでは JICA 寄贈の最新型のカラオケの巨大なスクリーンに映る故郷の風景を観ながら皆一緒に声を揃えて歌います。リクエストされる曲目も全く異なり、トロントで歌ってるロシア民謡、反戦歌、労働歌は全く歌われず、小唄、端唄はじめ戦前歌謡や戦後の流行歌や軍歌が歌われ、お互い共通してるのは童謡、唱歌それに演歌ぐらいです。

「空の神兵」が奏でられると、同船者のMLでメール交換していた伊豆山さんが立ち上がり僕と肩を組み歌い出しました。彼の話では昭和の後期、日本出張の際に銀座のナイトクラブで「空の神兵」を歌うと、まわりのボックスの人々が集まり大合唱になったとか。5年前に僕が「なつメロ」でこの歌を歌ったとML書き込んだ時に、「いつの日にか一緒に肩組んで歌いましょう」とレスされていたのです。それが実現した瞬間、たしかに連帯感がありました。このエピソードは、9年ぶりで復活したトロント春の歌謡ショーで、中山あつ子さんが僕のリクエストを読み上げ、山本昇ちゃんが「空の神兵」を歌ってくれたからご記憶の方もおられると思いますが、詳しく知りたい方は「なつメロ合唱の集い」と題しサンパウロをテーマに都市小説を書き堺市・自由都市文学賞に応募した落選作がメモリーに入ってますのでアドを教えてください。



ところで、今回の旅でのハイライトは「なつメロ合唱の集い」で待ち合わせた学移連(日本学生移住連盟)OBとの再会?でした。実は初対面なのですがMLでメール交換しており、同じ志を抱いて海外雄飛を夢見た者同士で、4時間歌った後でしたが更に4時間以上も食事しながら話し込みました。移住の動機はそれぞれ興味津々で、満州から引き揚げた故郷の東北で標準語しか話せず、日本には住みたくなくて国外脱出を子供の頃から企んでいたとか、豪商の家に生まれたが三男坊は余計者あつかいされたから飛び出したとか、左翼のリーダーで採用してくれる職場がなかったの他にいく所がなかったとか、失恋の末、やけくそで移民船に乗ったとか…。みんな古希を過ぎ悠悠自適の生活ですが、何か物足りないと同じ意見でした。これから連絡し合って何か祖国のためか日本の若者の移住振興運動でもやろうとか話は尽きませんでした。

学移連は既に数年前に解散しましたが、2年前に創立50周年記念祭(存続しておれば50周年)があり、OBや OG は日本はじめ世界各地に健在です。尚、50年祭には、福岡県在住のOB高原さんが企画・出演された映画「北辰斜にさすところ」三国連太郎主演が上映されました。この映画に僕の高校同級生だった絵沢萌子が共演しており、世の中狭いものです。

デリバリーご注文うけたまわります

❖ 寿司、刺し身、自家製スモークサーモン、定食類、麺類、丼物、種類豊富な一品料理を御用意しております。

❖ 御家族連れ用畳部屋有り。各種テイクアウト致します。

個人〜団体様用パーティールームございます。

ランチタイム 火〜金 11:30〜2:30

ディナー 火〜木・日 5:00〜10:00
金・土 5:00〜10:30
月曜定休日

日曜も営業!!

■ 当店ホームページ mikadorestaurant.ca を御覧下さい ■

Best Buy
L.C. B.O.
Home Depot

LICENSED

114 LAIRD DR. LEASIDE

駐車場完備

TEL/FAX: 416-421-6016

1978年創業

オーナーシェフ 梶田佳一

新車、中古車、一般修理、板金、塗装、リース、お車のことなら何でもお気軽にご相談ください。

Don Valley North Automotive Group

——— ドンバレー・ノース ———

1 DON VALLEY NORTH TOYOTA
3300 Steels Ave. E., Markham
(905) 475-0722 友野 www.dvntoyota.com

2 DON VALLEY NORTH LEXUS
3120 Steels Ave. E., Markham
(905) 479-8555 横山 www.dvnlexus.com

3 MARKVILLE TOYOTA
5362 Hwy #7, Markham
(905) 294-8100 田中 www.markvilletoyota.com

4 LEXUS OF RICHMOND HILL
11552 Yonge St, Richmond Hill
(905) 883-8812 坂本 www.lexusrh.com

5 DON VALLEY NORTH HYUNDAI
7537 Woodbine Ave. Markham
(905) 513-6878 www.dvnhundai.com

6 COLLISION REPAIR CENTRE
391 John St., Thornhill
(905) 886-0434
山口

私は三菱銀行で30年、国際会計事務所のプライス・ウォーター・ハウスで11年と合計41年のサラリーマン生活を送りました。日本を別にして、六カ国で働きましたが、その中で一番番苦し、かつ面白かったのが中東で過ごした3年間です。

1973年(昭和48年)に私は勤めていた三菱銀行の国際部で課長クラスの遊軍のような立場にいました。折から石油ショックが始まったばかりで、世界中のお金が中東の産油国に吸い上げられてしまうのではないかと、世界中の懸念が先進国の間で広がり始めた頃です。この年私は四十一歳でサラリーマンとしては一番さびしむる年齢でした。

日本政府も産油国の事情を至急調べる必要があると考えて「資源エネルギー問題調査団」というミッションを派遣することになりました。日本エネルギー経済研究所の向坂所長(故人)をはじめ錚々たるメンバー9名の中にどういわけか、私も三菱グループの代表のような形で参加することになったのです。

羽田を出て、イラン、クウェート、イラク、サウジアラビア、レバノンと回ったあと、OPECのあるウィーン、EC(今のEU)の本部のあるブラッセルを周り、次いで大西洋を越えてニューヨークへ飛び、日系石油企業の駐在員と懇談したあと、コロンビア大学の研究室でアメリカの石油問題の専門家たちと会談したのです。パンナムのジャンボ機が世界一周便を始めた頃です。今から思えば石油問題に素人の私が専門家に混じって公用旅券で世界一周するなど恥ずかしい限りですが、その2週間は必死でした。

これがすむと間もなくベイルート(レバノン)に駐在員事務所を開設することになったのです。ベイルートはその頃地中海のパリと言われた、中東の保養地として素晴らしい町でした。象が動き回る大きな舞台のあるカジノがあったり、ガラス張り、下のバーから泳いでいる人が見えるプール付きのホテルがあったりしたのです。しかし私の仕事は、ベイルートにあるのではなく、ここを拠点に毎週のように中東の産油国を飛び回って、日銭何億ドルといわれるオイルダラーをわが三菱銀行に取り込むことです。仕事の詳しいことは省きますが、3年の間に日欧米の有力10数行の銀行の中でまあまあ成績をおさめました。

ところがベイルートに事務所を作って1年ほどでレバノン内戦が始まりました。この内戦の背後にはイスラエルとパレスチナの抗争があり、ご存じのように40年近くたった今でも続いています。とても危なくてベイルートには居られなくて、家族を日本へ返し、事務所は閉鎖というより放棄して、日本人部下一人とともにアテネに避難しました。ここに半年ほどいましたが、色々不便なので、結局ロンドン支店に頼んで支店の中の一室に同居させてもらいました。ロンドンから産油国各地へ通うこと1年、合計3年で日本へ帰してもらいました。

私が通った主な産油国はサウジ、クウェート、イラン、イラク、アブダビ、ドバイ、カタール、リビアで、産油国以外で訪問した国はエジプト、シリアなどです。住んでいたレバノンの隣国イスラエルはアラブの敵対国ですから入国できません。どうしても行きたければアテネの日本大使館に頼んで別のパスポートを作成してもらうのです。しかしアラブ諸国を顧客にしている私はもちろんイスラエルに行くことはできません。

ご存じの通り中東諸国はイスラム一色です。今でもそうでしょうが、これらの国へ行くにはビザが必要です。そこで出かける前に、ベイルートにある、例えばサウジの大使館へ行って、何日かかりかでビザをもらうのです。ところがこのビザの申請書に自分の「宗教」を書く欄があります。飛行機から降りるときの入国カードにも宗教欄があります。

ここで自分の宗教は何なのか、自分はどんな信仰を持っているのか、自らに問いつつ機会を与えられました。私が終戦後関西から越後柏崎に移って同居した母の実家は古い呉服屋で土地の名刹極楽寺の檀家総代でした。お坊さんが頻りに出入りしますし、祖父が毎朝お経を唱えていました。しかし私には自分が仏教徒である自覚など全くありませんでしたし、大人になってからも同様です。こういう日本人が「お前の宗教は」と問われた時はどう答えるべきでしょうか。日本人の殆どは神仏プラス自然信仰を混ぜたものを何となく受け入れて、何の疑問も持っていないのが実情でしょう。例えば2008年の読売新聞の世論調査によると、宗教を信じている人は26%ですが、一方で盆や彼岸にお墓参りをする人は78%、正月に初詣に行く人は73%、家の仏壇や神棚に手を合わせる人は56%だそうです。

私もイスラムの国々を職場にすることになって、初めて自分の信仰というものを、自ら問いただす立場に立たされたのです。イスラムの世界では「無宗教」が一番嫌われます。ユダヤ教、キリスト教、イスラム教は同じ根から派生した世界の三大「一神教」で、歴史的に争いあって来ていますが、同じ神を信仰しているのに、教義としては、多神教の仏教、ヒンズー教などよりはお互いにずっと近いのです。

私は実質的に無宗教あるいは無信仰だったわけですが、入国カードには「仏教徒」と書かざるを得ませんでした。そして、このことは私の心の奥に澱のようにずっと残りました。

私が一番頻りに通ったのは世界一の産油国サウジですが、私が必ず訪問するサウジの中央銀行は紅海に面したジッダという町にあります。そしてイスラム信仰の中心であるメッカがジッダのすぐ近くにあるのです。世界中の熱心なイスラム教徒が一生に一度はの願いを込めてこのメッカに集まりますが、これらの巡礼者はジッダの空港へ降り立ちますから、いやでも空港でこの無数の巡礼者の群れに出会いますし、街の中ではコーランの厳格な戒律が守られている雰囲気身に滲みて伝わってきます。

一日5回のお祈りの時にはモスクのミナレット(塔)から放送されるアラアクトゥバ(神は偉大なり)の祈りの声が町中に響き渡り、この時は全ての人々が膝をつき、身を伏せて祈りを捧げます。その祈りの姿は真剣そのもので、「異教徒」である私は何処に身を置けばよいのか戸惑います。

コーランの戒律の一つに禁酒がありますが、サウジでは極めて厳格に守られています。空港での荷物検査で真っ先に調べられるのがアルコールで、酒類はもちろんヘヤトニックさえ没収です。もちろん砂漠越しの密輸はあるのですが、もし外国人が飲んでいるのを見つかったら国外追放です。ある大手商社の方が実際に追放されたという話を聞きました。サウジの人が罪を犯したときは、例えば姦通に対する石打の刑や、盗んだほうの手を切り落とす刑が実際に行われていました。今でも変わっていないでしょう。

イスラムの女性が家族以外の人に肌を見せるといけないという教えはよく知られているところで、宗教革命後のイランでスカーフが強制されていることはテレビでもよく見ますね。私が今住んでいるトロント郊外でもイラン系を含めてイスラムの女性はスカーフをしています。

今まで体験したことのない、こういうイスラムの世界で生活して私の心がどういう反応をしたかですが、厳格な一神教の宗教というものに対しては、反発ではなく、むしろ深い感銘を受けたのです。その30年後にトロントのキリスト教会で洗礼を受けることになったのも、日本のあいまいな宗教に疑問を持ったこともあります。アラビアで強烈な印象を受けた「一神教」というものを肯定する気持ちが心の底にあったような気がします。

厳格なイスラム教の教えを守っているアラブの人達の姿には好意的な感銘を受けたのですが、仕事や日常生活で接するアラビアの人達の態度については、とても難しい面が多くありました。まず第一に彼らの言っていることが当てにならないことです。意図的に騙そうとしているのではなく、嘘を言うことや、いい加減なことを言うこと、あるいは裏切ること、何の躊躇もないように思われるのです。毎週のように乗る飛行機の予約が当てにならない、約束したアポイントが守られない、こういうことが日常茶飯事で、おかしいじゃないかと問いたです、必ず「インシャーラ」の答えが返ってきます。意味は「神様がそのようになさったのだから、仕方がない。」です。自分が間違っていたとか、約束を破ったという意識が全くないのです。おかげでじっと我慢することにすっかり慣れました。飛行場で何時間待たされても平気になりました。

新鮮さ味一番!!



オーシャンフードの練り製品をどうぞ!

- ◎かまぼこ ◎てんぷら ◎さつま揚げ ◎シューマイ
- ◎竹輪 ◎はんぺん ◎その他練り製品

日本食品店でお求めください

Ocean Food CO. LTD.

Since 1980

SEAFOOD MANUFACTURER
3 TURBINA AVE, TORONTO, ONT. M1V 5G3
www.oceanfood.ca TEL.(416) 285-6487 FAX.(416) 285-4012

少年時代 - 川池小学校時代

長石芳尚



神戸に移って最も大きく変わった事はといえば、昆虫や小魚との出会いがほぼ皆無になった事だ。それに代わって登場するのがまあ怪しげな大道商人だった。まず学校帰りの僕達を目当てのチョコ髭のおじさんが居た。このおじさんが

僕たちを誘惑しようと見せていたのは、曰く「ピョコタン」という直径4~5cmの細長いガラス瓶に入った、これもガラス製の丸い頭の小さないくつもの浮きと「パタパタ」であった。他にも何かあったかもしれないが記憶にはない。まず、「ピョコタン」を説明すると、小さな浮きがガラス瓶の中、水中のあちこちに浮かんでいてピンを蓋している薄いゴムをおじさんが操作すると不思議な事に例えば赤い浮きだけがピョコタンとお辞儀をしたり、沈んだりする。僕がおじさんに頼んで試してみると、どんなにもがいても浮きが揃って同じように動いてしまう。理科の時間に習ったとおりなのだ。このナゾは今もって解明できていない。このおじさんが何を僕たちに売ろうとしていたのか覚えが無いが、今思うに小型の「ピョコタン」とこれから説明する「パタパタ」だったのだろう。この「パタパタ」は今でもその変形をNJCAの「日本玩具」の店で見ることが出来、僕は其の作り方を初めて見たその日に解明している。これは作ってやってみれば自ずと判るものであったがおじさんが大声で呼ばれる口上を聞きながら見ていると真に不思議で魔術としか思えなかった。

もう一つ、これも学校帰りに見聞きして早速帰って試して大失敗したので覚えているのは、「蝦蟇(がま)の油売り」のおじさんだ。このおじさん、僕の家のおすぐ近く、湊川市場と僕の家を結ぶ川崎病院の下を走る通りの道端に店を開いて軟膏を売っているのだがその口上たるやまさしく「蝦蟇の油売り」で、蝦蟇がそこにいたかどうかは覚えに無い。このおじさん出刃包丁を驚掴みにしたうえを白い切地でぐるぐる巻きにしてから其の出刃包丁をグイと抜くのだが手には全く傷がない。心から感心した僕は家に帰ると早速台所の菜切り包丁で試してみた。ほんの少し包丁を抜いただけで手には鋭い痛みと血がポタポタと流れ出て僕の挑戦はお終いとなりました。後で分かった事は出刃包丁のような両刃の刃物の方が力を左右均等に分散すれば切れにくくなるそうで大道のおじさんは道理で出刃包丁を使っていた訳だし、出刃包丁を使っても上手いっただけどうかは判らない。多分結果は同じだったろうと思う。

新開地で思い出すものの一つに「湊川温泉」がある。残念ながら中に入った事は無いが、これぞ新開地を代表する施設であった事は利用した経験のない僕にでも全く疑う余地がない。ここでは左下の写真からも判ると思うが各種の温泉風呂と2本立て、あるいは3本立ての映画を家族同伴で出掛けて1日中楽しめる娯楽の殿堂であった。勿論、食堂も完備されていたものと思う。私たち親子が1度たりとも試さなかったのは全く両親の趣味に沿わなかったからだろうと思うが、今思えば1度は経験してみたかった施設ではある。

もう一つ新開地と聞いて神戸に住む者なら誰の頭にも直ぐに浮かぶのは「エエとこ、エエとこ、聚楽館(しゅうらっかん)と読む)」と宣伝し、口にも上った、スケート場、映画館があった。これも残念ながら小学生の僕が1人で行ける場所ではなく中を覗いた事はあるが詳しくは判らない。唯、僕には秘密めいた何となく暗い楽しみを隠す娯楽施設という印象を今も僕の脳裏に持っている。そしてこの聚楽館の斜め向かい、市電が通る広い道を隔てたところにあったのが「オリオン座」とかいった映画館。ここで生まれて初めての映画、デイズニーの「白雪姫」を川池小学校から先生に引率されて見たことを思い出す。「ハイホー、ハイホー・・・」と歌う小人達、澄んだ白雪姫の音が僕の心に残った。まだ続きます。

トロント新移住者協会 会員更新と入会のご案内



会員の皆様、如何お過ごしですか?

トロント新移住者協会はお陰さまでその創立以来34年になりました。これまでの34年間、協会はトロントにおける移住者と日系社会が日本語と日本文化を共通項として共に歩めることを願って活動を続けてきました。最近の日系文化会館を見て下さい。協会と会館が共に求めた成果が現れてきています。協会は来るべき将来に向けて何が出来るかを立ち止まって考える時が来ています。その為に、多くの方に会員になって頂き、共に考え、共に歩んでいただきたいと思っています。

また、今、新しく会員になっていただくと会員証と共に記念誌を入手して頂けます。どうか我々に続く二世、三世の日系人としての誇り、日本文化への誇りを維持し継承する為、よろしく願い致します。

会費は年間20ドル(家族あるいは個人)、有効期限は支払い月から1年間(月決め)となります。引き続き会員として、トロント新移住者協会へのご支援、ご協力をして下さる方、新たに会員となっただけの方は、会員登録フォームを小切手と共に協会宛にお送り下さい。会員証を折り返しお送りいたします。



家から程遠くない所に湊川公園があり、平生はがらんとした公園とは名ばかりの空き地を抜けると新開地が始まる。ここは神戸でも有数の繁華街で元は福原の遊郭に続き、ずっと下れば川崎造船や三菱造船に到る長い長い店また店の商店街でもあった。父親でさえ、あっちこちの店に引かかって、怪しげなパーカー万年筆や時計等などを買い込んでゴロゴロさせていたのを思い出して懐かしく思う。かく言う僕は小学生、小遣いは貰っていたのか記憶に無いくらいだから、小さな弟の手を引いて新開地をウロウロして出店に

首を突っ込んではいたけれど何かを買った覚えは全くない。地面の片隅の此処彼処に並ぶ出店のウィンドウショッピング、夏ともなれば腹巻にステテコのおじさんの呼び込みに飽きることなく耳を傾け、日暮れにはカーバドのにおいを撒き散らす青白い明かりに我を忘れてしまう小学5年生だった。

笑顔のおもてなし J-TOWN Japanese Shopping Centre 日本の物なら何でも揃う www.jtown.ca J-TOWN 3160 Steeles Ave. E., Markham L3R 4G9 営業時間 : 火・金 10:00~19:00 土 9:00~19:00 日 11:00~18:00 月曜定休			
平成マート 日本食品 和風野菜 etc 905-305-0108	BAKERY 中むら パン、ケーキ 905-477-3555	FâMu 特約農場より直送の 安心なナチュラルミート、 和牛、豚豚、皮付チキン他 905-475-5005	J.B.C. Books & Videos 日本の雑誌、 ビデオ、音本 905-415-0611
Sakana-Ya 日本からの鮮魚直仕入 漬け魚 各種弁当他 647-688-4815	とら寿司 日本人板前の 本格寿司! パ、ティ、トレイも ございます。 905-948-8047	Boutique Ai 日本からの 婦人服と アクセサリー 905-470-7772	SILK 日本の雑貨一般 905-258-0294
Japan Beauty IMAGES INC SHISEIDO トイレタリーグッズ 905-943-9248	Cafe Green Tea カレー、うどんなどの 軽食喫茶 905-470-0758	STUDIO T (美容室) 予約優先制 905-475-4247	

トロント歌声喫茶 10 周年記念の集い 5 月 2 2 日

三浦信義



海外初の歌声喫茶として生まれたトロント歌声喫茶はこの 5 月の春の集いで 10 周年を迎えます。ここまでトロント歌声喫茶を支えて下さった皆さんと 10 周年の集いを一緒に祝いたいと思います。

10 周年記念の集いは 5 月 22 日(第四土曜日)です。ヴィクトリアデーの連休の土曜日ですが、皆さん、どうか奮って参加して下さい。会場は日系文化会館。1 時間早く 4:30pm 開始を予定しています。ブラジルや、ひょっとしたら日本からの訪問者・来賓が来る可能性もあります。

現在世話人会でいろいろ計画を話し合い中です。記念誌はすでに作成に取り掛かっています。トロント歌声喫茶の歩み、歌声運動の歴史、過去の写真、10 年間のリクエスト曲の集計・ランキング、会員の皆さんの一口コメント、など盛り沢山。他にもいろいろ企画・計画を話し合い中です。今後のお知らせに気を付けて下さい。

現在世話人会は次の陣容です(敬称略):色本、掛川、中村(由紀)、丸木、かわべ、中尾、山本、志鶴、斎藤(Hank)、三浦。

なつかしのメロディー 5 月 2 9 日

トロント芸能愛好会副会長 ハリー川邊



5 月 29 日(土)午後 6 時半よりトロント芸能愛好会主催により「なつかしのメロディー」と題した歌謡ショーが小林ホールにて行われます。昭和初期から昭和 40 年代までの歌を網羅し、山本一座の寸劇をも交えてお送りします。乞ご期待!

今回のメインの対象は、戦中をキャンプで過ごし、戦後他市に再移住した二世、三世の方々と、日本の昭和 10 年代から戦後の混乱を経てやっと落ち着いてきたと思われる昭和 40 年代までの 30 年間にヒットした流行歌を非常に懐かしく思っているそうです。昭和 10 年代は 10 年ヒットの「旅笠道中」、12 年ヒットの「流転」、「裏町人生」といった曲などで 15 曲、20 年代は「りんごの唄」に始まり、「東京の花売り娘」、「星の流れに」、「芸者ワルツ」の他、アメリカで流行り日本でも歌われたポピュラーで、「テネシーワルツ」、「トゥ・ヤング」などをこちらで生まれ育った 2 世の歌手達に歌ってもらいこれが 9 曲、30 年代は「月がとっても青いから」、「ここに幸あり」などを筆頭に 40 年代初期の「悲しい酒」、「小樽のひとよ」までを含めて 12 曲、合計 36 曲のなつかしいメロディーを山本一座の寸劇をはさんで歌い上げます。

入場料は 15 ドルと定めております。

ご連絡は、 土山悦子(416)291-7002、 大森けい子(416)531-2749

トロント新移住者協会 2009 年度年次総会開催のお知らせ 4 月 2 3 日

トロント新移住者協会2009年度の活動を締め括る年次総会を下記の通り開催いたします。

総会を成立させる為、また協会の将来に皆様のお考えを反映させるためにも会員の皆様の積極的なご参加をお願い致します。

日時: 2010年4月23日 (金曜日)

午後6時 会食、午後7時 総会

場所: 日系文化会館 ウインフォード・ルーム

委任状: 会員の方で総会当日出席出来ない方は添付の委任状に必要な事項をご記入の上郵送して頂くか下記へファックスして下さい。

総会を成立させる為、また協会の将来に皆様のお考えを反映させるためにもぜひ委任状をお送り戴きますようお願いいたします。忌憚のないご意見をお寄せいただければ、協会の活動に反映させるように努力をいたします。

お願い: 印刷物、食事を準備する都合上、出席される方は電話、ファックス、または電子メールで4月12日(月)までに必ずご連絡下さい。

トロント新移住者協会/連絡先

電子メール: nobbycosmic@yahoo.co.jp (三浦)
ファックス: 416-644-1241(長石)
電話: 416-644-1240(長石)
905-475-7173(長石)

心に雨が降るときは 長石 紗永子
心に雨が降る時は
小径を歩こう
小さな花が一緒に震えてくれるから
小鳥が共にないてくれるから
寒さに耐えた小枝が芽をのぞかせてくれるから
希望の風が雨雲を追いやって
涙の雨は煌めく露となって空に昇る
星の願い 長石 紗永子
地球は宇宙の中の青い風船
私達の夢と希望を乗せた宝の風船
星は願っている
宝の風船が割れないようにと
いついつまでもこの風船が
宇宙で青く浮かんでいるようにと



【編集後記】



編集責任者 森貞一弘

ここ1週間ほど温かくて、裏庭では既にふきのとうが顔を出している。やっと春が来たということで長い冬の間に溜まってしまった毒素と過労気味のストレスを解消するためにホット・ヨガを始めた。日曜日の午前中、ヤングにある「癒し」という岩盤浴のスパで、モデルの様に綺麗なジャンナさんというインストラクターについて、真似事をするのだが、スフィンクス?のポーズとかになると、もうついていけない。もう、そこら中の骨がボキボキと軋むっていうのか…筋肉痛だらけ。しかし、本当に汗をかくというのは、すごく気持ちいい。

春です。1 年の中で最も変化の激しい、美しい季節です。思いつくまま感受性をフルに活用して、自分の言葉で表現してみてください。「にゅうすれたあ」115号の原稿締め切りは6月15日、7月初旬に発送する予定です。

ご意見、原稿の送付先→ doit4joy@hotmail.com